

2003年協会新年例会盛大に開催

報サービス産業協会新年例



郷司会長新年挨拶

大分県情報サービス産業協会平成15年新年例会が、1月29日15時30分から、トキハ会館で会員約60名が出席して、野尻健総務委員長の司会により、盛大に開催された。

最初に郷司潔会長が新年にあたって次のような挨拶をされた。

『バスに乗り遅れるな』

昨年を振り返ると、デフレ、相次ぐ倒産、株価低迷、高い失業率など厳しい一年でした。県内の状況も、年初に代表的企業が大量の人員整理に踏み切るなど同様の状況でした。皆様の企業も大変ご苦労なされた一年ではなかったでしょうか。

我々の業界も5月までは前年比7,8%の伸び率で比較的好調でしたが、6月頃からは横ばいに転じ、将来見通しを表す業界のDI値も厳しいものとなっています。その大きな原因は都市銀行の合併によるシステム統合作業が一段落したことだと言われています。しかし、e-JAPAN構想は着実に進行しています。中小企業の情報化も進んでいるとはいえ、まだまだ余地は残っていると思います。日本における中小企業の情報化はまだ道半ばで50%はこれからだと言われております。日本企業の99%は中小企業ですから、まだ明るい展望の持てる業界だといえます。しかし、皆様も実感されていると思いますが、個々の会社にとってはバスに乗り遅れたり一つ間違えると追いつくのが極めて難しいのが現実です。ですからお互いバスに乗り遅れないよう協調スクラムを組んでいく必要があります。大分県の情報化に責任を持って推進しなければならない使命があります。

今年もコンソーシアムを組んで推進すべき課題がいくつか出てくるものと思われます。その時は協調スクラムを組んで責任を果たしてまいりましょう。

不況下の企業では『人が見える』、とよく言われます。好況下ではわからなかったが環境が厳しくなると、そこで働いている人の力(の差)が見えてくるということでしょう。その意味でこの一年、人に見える企業を目指して頑張っていきたいと思えます。

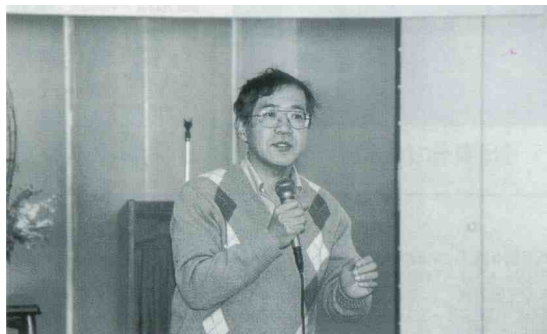
昨年も触れましたが、ダーウィンは『進化論』で、変化の時代に生き残るのは、力の強いものや、頭のいいものではなく、敏感に変化に対応していくことのできるものだけであると言っています。今まさにその時代ではないでしょうか。私達も150年前のダーウィンの言葉を肝に銘じて、変化に対応しながら今年も頑張っていきましょう。この新しい年が我々業界にとって輝かしい年になることを祈念し挨拶に代えさせていただきます。

ついで、二宮滋夫大分県商工労働観光部長に来賓祝辞をいただいた。



二宮大分県商工労働観光部長祝辞

引き続き、16時から記念講演として宇目町観光大使の矢野大和氏に講演いただいた。(講演内容は、2面に掲載しています。)



宇目町観光大使矢野大和氏講演

また、今回は開会に先立ち県知事選出馬予定の広瀬勝貞氏の協会推薦を決定。ご本人のご挨拶をいただいた。

報情報サービス産業協会



広瀬勝貞氏挨拶

その後祝賀パーティへ移り、協会の清水正俊副会長の挨拶、県産業技術振興課長の安東紀和氏の乾杯の音頭で懇親会に入った。



清水副会長挨拶



安東県産業技術振興課長の乾杯の音頭



懇親会風景

2003年新年特別講演会

日時：平成15年1月29日
 場所：トキハ会館
 講師：宇目町企画商工課課長補佐
 （宇目町観光大使）
 矢野大和氏
 演題：情報過多（肩）でこっている

全国をまたに駆けて活躍中の矢野さんの大分弁での語りはまさに軽妙洒脱。冴えたジョークが随所に散りばめられ、あっという間の1時間でした。しかもその中にはしっかりと氏の様々な主張が織り込まれていました。

自己紹介、私の役目

宇目町の職員ですが今年に入って一度も役場に出ていません。でも、給料はしっかりいただいている、少し申し訳ない気がします。

これは町長が変わっておられるというか、部下の特技を生かすという考えなので私のような仕事の仕方ができるのだと思います。というわけで、宇目町観光大使として全国を駆け回って宇目町を宣伝するのが公務員としての私の役目です。昨年は470回の講演をこなしました。

予定どおりにいかないとき

ノーベル賞の田中耕一氏のインパクトは大きかったですね。作業着で会見に出て、しかも奥さんからの携帯に思わず出るようなフツの人が受賞したからでしょう。もっと凄

いのは、田中さんは研究など何事も予定どおりにいかないのが当たり前、と悟っておられることです。そういう人は強いですね。予定どおりにいかないときにどう対処をするかに、人間の度量の差がでると思います。

タマちゃんブームに思う

タマちゃんの例も予定どおりにいかない格好の事例です。欲をいえばブームで終わらせず鶴見川をきれいにしようとか、空き缶を拾って帰ろうなど、いい方向に変えようという動きが出てきて良かったのではと思います。

お腹の脂肪を豊富な『資源』ととらえ、その資源を有効活用する方法を考えるんです。そういう知恵こそ大きな資源ではないでしょうか。日本には『資源』が豊富にあるんです。

頭を下げる

役人はできるだけ頭を下げないで済まそうとします。その点民間の人は凄いなと思います。

この4月に統合してできる町立緑豊中学校の校歌の作曲を南こうせつさんに依頼することになり、町長自らが依頼に行きました。ある事情で、こうせつさんには断られました。しかしせつかくの町長ご自身の依頼なので代わりに、と親友のイルカさんを紹介してくれました。頭を下げた効果です。イルカさんも快く引き受けてくれ、現地への取材やTV出演時に宇目町をPRするなど大変好意的な対応でした。さらにこうせつさんをゲストに招いての町民向けコンサートまで実現しました。福岡公演のついでということでギャラも無しにですよ。

中津江村の人々のたくましさ

カメルーンチームの度々変わる予定への対応に役場の職員の皆さんは大変だったことでしょう。そのことが想像でき理解できるだけに胸が熱くなります。村のお年寄りも非難一つすることなく、ただただ純朴な笑顔で『おもてなしの心』に徹したことが全国の人々の心を動かしたのだと思います。それだけではなく、トラブルをいい方向に変えて成功させる一種のたくましさを私は感じます。

宇目町のことーしたたかな田舎へー

グリーンツーリズムという企画を実施しています。都会の人たちに田舎の生活や人情を実感してもらおうという企画です。都会の人たちに負けないように、『したたか』に実現する方法を考えたい、これが『したたかな田舎』ということです。（総務委員会）



会場風景

平成14年度 第2回 視察研修 大分県の古今融合施設を訪ねて

今回の視察研修は、江戸中期（1798年）田能村竹田が豊後国志を編纂するために県内を探訪したように、平成15年2月6日一日の日程で地元企業・市町村を訪ねる企画となりました。

最近、昔の風景・食べ物・玩具を大切にすることをコンセプトで町作りに取り組んでいる市町村の話をよく耳にしますが、今回訪ねた『臼杵市ケーブルネットワークセンター』も大友宗麟が築いた丹生島城（臼杵城）を中心に白壁を基調に作られた建物群に包まれていました。ケーブルテレビスタジオ、IT研修室、官公サテライト、およびそれらの情報をコントロールするサーバ機器が、とても存在するとは思えないレトロな雰囲気の中に配備されていて驚きです。市民にもコンピュータが開放され、学校帰りの子ども達が列をなして自分の番をまっている様子が思い浮かぶような市民ギャラリーを代表とする施設は、もう一度来てみたいと思わせる施設でした。県下26の

醤油メーカーが、協業組合組織で建設した醤油製造工場（昭和52年完成）には、日本一の大木樽（高さ9m×直径6m）があります。樹齢400年のヒバの芯材だけで作った木樽の迫力は、見た者を圧倒します。ISO9001を取得した近代的設備の中で、昔ながらの時間と純地元産材料で昔の味を追及した無添加・天然醸造3年もの醤油『八本木樽』がこの樽で作られています。樹齢400年のヒバ、昔ながらの醸造法、そして近代的工場、とここでも昔と今が融合していることに驚きを感じながら『フンドーキン醤油』の製造工程を見学いたしました。



午後からは、近代的技術を活用した

『大分県海洋水産研究センター』を訪ねました。ここでは、全国11位の大分の漁獲高を支える、養殖・栽培漁業技術の研究が行われています。同センターは大分県海洋水産研究センター、浅海研究所、内水面研究所が1900年から蓄積してきたノウハウを1996年に一つにして、栽培漁業・養殖漁業者が恐れる赤潮の事前予知・防疫対策指導等を行い漁獲高の向上に努めるという施設でした。

続いて、1992年に豊肥地区農道離着陸場として供用を開始した『大分県中央空港』を訪ねました。ここでは、はじめてセスナ機のフラップに触れ、その薄さとエンジンの排気量が見た目よりも大きく6000CCあることにビックリしました。また、防災ヘリ（とよかぜ）の災害活動・救援活動のお話を隊員の方から伺え感激いたしました。

文末になりましたが、今回の視察研修でお世話になりました皆さん、本当にありがとうございました。

（企画委員会）



おかげさまで40年
 お客さまへの変わらぬ誠意をもって
 インテックは変わりつづけます

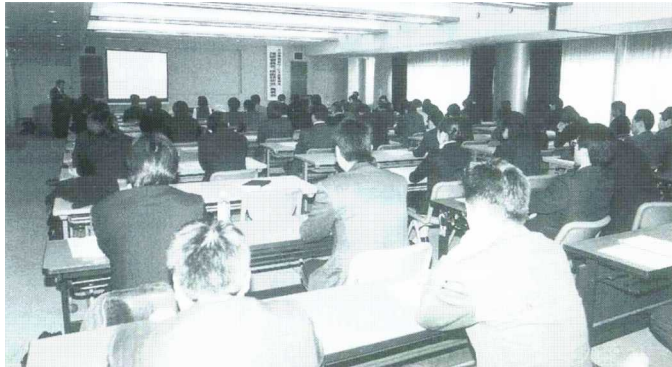
株式会社 インテック 経済産業省 SI登録・認定企業/ISO認定企業 <http://www.intec.co.jp/>
 大分センター：〒870-0034 大分市都町1-2-19(大分都町第一生命ビル) TEL(097)536-7366 FAX(097)536-7399
 本社：富山市牛島新町5-5 TEL(076)444-1111/東京本社：東京都江東区新砂1-3-3 TEL(03)5665-5100
 札幌、仙台、新潟、東京、横浜、長野、名古屋、京都、大阪、広島、高松、福岡、大分、魚津、高岡、金沢、福井

第6回『技術研究会』発表会開催

基調講演 演題：『知識創造のためのXMLによるナレッジマネジメント』

講師：大分大学工学部 末田 直道 教授

日時：平成15年2月21日(金)13:30～16:50 場所：第二ソフィアプラザビル2階 ソフィアホール



発表会風景



末田直道教授の基調講演

技術委員会が主催する平成14年度「技術研究会」の発表会が盛況に開催されました。この研究会は、毎年会員各社の中堅および若手の技術者が集まって、ソフトウェア開発のための新技術や情報システムの効率的利用について共同研究の形で活動をしており、今年度も昨年の7月から業務の合間を縫って共同研究を行ってきた4部会がその成果を発表しました。

初めに、当委員会の定松委員長より開会挨拶があり、その中で今年度共同研究に携わった方々の取り組み姿勢がとても熱心であり、研究成果も高いとのコメントがありました。

発表会に先立ち、基調講演を行いました。今年度は大分大学工学部知能情報システム工学科の末田直道教授を講師としてお招きし、『知識創造のためのXMLによるナレッジマネジメント』の演題で1時間、お話を伺いました。興味深かったのは、知識創造に4つの「場」（創発の場、対話の場、システムの場、実践の場）があり、それぞれの「場」を会社内に構築して社員の創造的活動を推進している会社があるとのこと。また、ナレッジマネジメントの目的は、組織内にある知識を共有し活用し、新たな知を創造する仕組みを確立することであり、知識情報共有システム構築のための知識ベースにはXMLが有効であるとのこと。末田先生は昨年、企業から大学に移られたばかりであり、実践的で興味深い内容の講演でした。



その後、研究部会の発表会に移り、今年度は「PostgreSQL部会」、「ドットネット部会」、「デザインパターン部会」および「豊

の国ハイパーネットワーク活用部会」の4部会が、それぞれの研究テーマに沿って30分程度、研究成果の発表を行いました。各部会の研究テーマと発表の要旨は以下のとおりです。

最後に、定松委員長が各部会の部会長に約7か月間の研究活動に対する報奨金を贈呈して労をねぎらいました。

「技術研究会」は今回で6回目を迎えました。これまで、発表会や論文集の発行およびホームページでの公開を行うなど、それなりの成果と実績を上げています。また、部会への参加者は延べ200名余りになり、活動後もメールや懇親会等の情報交換を通じて交流を

深めているグループもあります。今後も皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、各部会の論文集は当協会のホームページで公開しております。一度、ご覧いただければ幸いです。（技術委員会）



7か月間の活動に拍手

研究テーマと発表の要旨

①PostgreSQL部会

テーマ：『PostgreSQLの機能検証と適合システム』

要旨：・フリーライセンスでオープンソースのPostgreSQLデータベースの特徴とVacuum機能の検証結果
・適合する業務システムについて

②ドットネット部会

テーマ：『CLRの研究とWebサービスの試作』

要旨：・Microsoft .NETとは何か
・NET Frameworkの基盤であるCLR（共通言語ランタイム）の調査結果について
・試作したWebサービスのデモ

③デザインパターン部会

テーマ：『POS端末へのデザインパターン適用』

要旨：・デザインパターンとは何か
・POSシステムを例にデザインパターンを適用した結果と評価について

④豊の国ハイパーネットワーク活用部会

テーマ：『豊の国ハイパーネットワークの特性を活かした有効的な活用方法』

要旨：・大分県が推進する豊の国ハイパーネットワークとはどんなものか
・「トリニータサポート計画」をテーマにした具体的な活用案と考察について



株式会社 エイビス

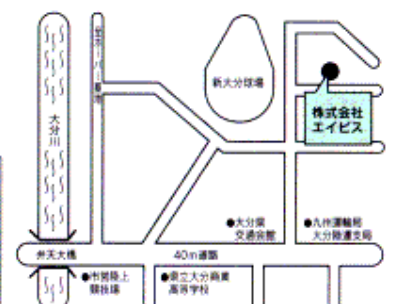
所在地 本社 〒870-0906 大分県大分市大州浜1丁目4番32号
TEL 097-573-2244 FAX 097-573-2220
東京営業所 〒015-0014 東京都港区芝2-9-3 万代芝ビル5F
TEL 03-5232-3678 FAX 03-5232-3679
熊本営業所 〒876-0063 熊本県熊本市城山上代町220-3 吉永ビル202号
TEL 096-311-0144 FAX 096-311-0146

◆コンピュータソフトウェア開発
・環境関連パッケージソフト
・スーパー向け本部システム
・ソフトウェア受託開発
・ネットワークサポート

◆パッケージソフト販売・サポート
・土木CAD、汎用CAD、原価管理ソフト
・地図システム

◆流通VAN、ソフト開発、サポート

◆商事部門
・クレリネス事業の展開
（グリストラップのメンテナンス業務）
・油水分離関連事業の展開
・厨房内機器の無線データ収集システム



第11回 サウンズコンテスト ON THE COMPUTER 開催

日時:2003年1月25日(土) 13:30~16:00 会場:大分市オアシス21地下1F映像小ホール

第11回を迎えた「サウンズコンテスト・On The Computer」は、1月25日(土)に大分市オアシスひろば21の地下1F映像小ホールで、大盛況のうちに開催されました。

司会は1年ぶりに大野久美さん(OBSアナウンサー)にお願いし、しつやかな中に味わいのあるトークを交えながら、楽しく進行していただきました。当協会郷司潔会長にオープニングのご挨拶をたまり、審査委員長の田村大分大学教授を始めとする審査委員の皆様のご紹介を経て、熱戦の火蓋は切られました。

今回は応募者数15名・曲数20曲の中から予選審査を通過した8名10曲で公開審査が行われました。例年よりも応募者数が減ったものの、各曲のレベルは一段と高まり、全体的に激しい競争となりました。

その結果、みごとグランプリに輝いたのは、後藤哲哉さんの編曲「関の鯛釣り唄」でした。各部門の順位と表彰内容については下記をご覧ください。

また、最終審査の協議の間、会場の皆様には「コンピュータミュージックに磨きをかける！」のテーマで星芝貴行先生(日本文理大学講師)の特別セミナーをお聞きいただき、大変好評でした。特にアイボが曲に合わせて踊る様子が会場の皆様を釘付けにする一場面もあり、楽しいトークショーが展開されました。

今回もマスコミ各社様に後援をお願いし、多くのご支援をいただきました。一例を挙げますと、大分合同新聞社による作品の募集告知、OBSラジオのトピッカーによるコンテストの開催告知、NHKによる審査結果の取材など、各社各様に取りあげていただきました。多くの報道を通じ、当協会の存在を広くPRすることができましたことに、深く感謝申し上げます。

あわせて、副賞の景品をご提供いただいた各社様には毎回にもかかわらずご援助いただいておりますことを、紙面をお借りして御礼申し上げます。ありがとうございます。

なお、グランプリ曲およびオリジナル曲部門1位

の2曲につきましては、次のアドレスよりダウンロードして視聴できます。

多数の方のアクセスをお待ちしています。

<http://www.oec-net.or.jp/~oisa/sound/>
(イベント委員会)



審査員特別賞



熱心に聞き入る会場風景

入賞者(敬称略)

種別	氏名	年齢	地区	タイトル	賞金・盾・賞状	副賞
グランプリ	後藤哲哉	60歳	別府市	関の鯛釣り唄(編曲)	賞金30,000円 賞状	西日本電信電話賞 オーイーシー賞 KCS大分情報専門学校賞
オリジナル曲部門1位	落合邦浩	26歳	東京都	「朝美と少夜香と妖精の森」から「序曲」	賞状	九州東芝エンジニアリング賞 KCS大分情報専門学校賞
オリジナル曲部門2位	大島弘敬	23歳	福岡市	W. A. R. P	賞状	新日鉄ソリューションズ賞
オリジナル曲部門3位	木下直郁	24歳	大分市	DNSS	賞状	総合技術工学院賞
編曲部門1位	望月陽一郎	39歳	大分市	Dreams from above	賞状	富士通大分ソフトウェアラボラトリ賞 KCS大分情報専門学校賞
編曲部門2位	木下直郁	24歳	大分市	トラベリング	賞状	ゴードービジネスマシン賞
編曲部門3位	指原隆	49歳	挾間町	作曲の瞑想	賞状	トキハ賞
審査員特別賞 (大分合同新聞社賞)	渡辺俊治	49歳	大分市	OHI-Samba	盾 (大分合同新聞社)	総合技術工学院賞
審査員特別賞 (エフエム大分賞)	住田沙織	23歳	大分市	Variation	盾 (エフエム大分)	エフエム大分賞 KCS大分情報専門学校賞

審査委員(敬称略)

氏名	審査歴
審査委員長 田村洋彦	7回
大分大学教授(音楽科) 九州作曲家協会会長	
審査委員 郷司潔	4回
大分県情報サービス産業協会会長 ㈱オーイーシー	
審査委員 星芝貴行	2回
日本文理大学講師 (情報メディア科)	
審査委員 白石洋一	3回
大分県情報サービス産業協会会長 ㈱日鐵物流コンピュータシステム大分	
審査委員 久保田栄子	1回
作曲家	

フレッシュさん紹介 今後ともよろしくお願いたします。

(株)富士通大分
ソフトウェアラボラトリ
第二ソリューション開発部
首藤 由美
趣味:バスケットボール、おかし作り
好きな言葉: 節度あるでたらめ



(株)アトムス
ソリューション営業部
後藤 匡臣
趣味: スポーツ観戦、
ドライブ
好きな言葉: 愚直



(株)ザイナス
システム開発部
原尻 大輔
趣味: テニス、映画鑑賞
好きな言葉: 自給自足



大学時代、化学科だったこともありそれほど情報産業とは縁のなかった私ですが、時代の影響もありIT業界に興味をもち今では、毎日PCと向き合っています。

入社して一年が経とうとしています。が、「便利優先」の時代で生きる一人として感じることは、「便利さの中でいかにして本来人間のもつ心の豊かさを生かしていくか」です。

世に「便利」を提供する側である私達ですが、人々が便利な世の中に使われ、大切なものを見失うのではなく、いつまでも心の暖かさを忘れないような便利なもの作りに携わりながら社会へ貢献していきたいと思っています。

入社して間もなく、まだまだ勉強の日々を送っています。異業種からの転職でわからないことが多く、今は「習より慣れよ」の精神で先輩方にご指導いただいています。

会社の雰囲気にも徐々に慣れていってはいますが、思うように知識もついていかず焦ってばかりです。しかし今は自分にとって一番大事な時期であることを重々肝に銘じ「愚直」に、そして「着実」に毎日を過ごしていこうと思います。今後は一日も早くお客様に提案ができ信頼される営業マンになるべく一層の努力を惜しまないつもりです。

入社して間もなく1年になります。入社当時は自分が本当にソフトウェア開発ができ、仕事をこなしていけるか心配でした。

しかし、いろいろな業務に取り組むにつれて、その不安が少しずつ自信に変わっていくことに気がきました。

不安を乗り越えられたのは、先輩方の指導によるものと思います。

これから、たくさんの壁にぶつかっていくと思います。しかし、それらを乗り越え周りから信頼される技術者になっていきたいです。また、これからは先輩方も入ってくることになると思うので先輩方から受け継いだ知識を後輩達に残していこうと思います。

広報委員会からのお知らせ

OISA Newsでは、毎号2、3名のフレッシュさん紹介記事を掲載しています。

フレッシュな方であれば、新入社員でなくてもかまいません。自薦、他薦を問わず、希望される方は広報委員会までおしらせください。

OISA News

2003. 3. 24発行

発行: 大分県情報サービス産業協会
会長 郷司 潔

<http://www.oec-net.or.jp/~oisa/>

編集: 広報委員会
事務局: 大分市城崎町2-6-31
(大銀コンピュータサービス(株)内)
TEL(097)537-5918
FAX(097)534-4545

印刷: 佐伯印刷株式会社

メディアをフルに生かし、情報にチカラを与える、クロスメディア。
品質の高い印刷物、コンテンツを重視したホームページ、CD-ROMでの検索機能の製作、
掲載紙面のデザイン、看板や案内ボードの設計...etc.
受注しながら、発信しながら、
お客さまからいただいた情報を、さらに価値あるものへデザインしていきます。

クロスメディア。 それは情報のデザイン。

佐伯印刷株式会社

大分市古国府1155-1 TEL097-543-1211 FAX 554-4028 営業所/東京都・福岡市・佐伯市・津久見市
URL: <http://www.saiki.co.jp> E-Mail: info@saiki.co.jp